

# Ⅱ平成27年度市町村教育委員会の社会教育における障がい者関係事業等の実施状況調査実施要領及び入力方法

## 1 調査の目的

市町村の社会教育における障がい者関係事業等の実施状況を把握し、大阪における事業推進の基礎資料とする。

## 2 調査の概要

### ① 調査内容

□教育委員会（図書館等も含む）主催（委託も含む）の障がい者（児）に関する事業実施状況

- ・様式1 障がい者（児）理解に関する事業（一部実施も含む）
- ・様式2 障がい者（児）と障がいのない人がともに参加した事業（一部実施も含む）
- ・様式3 障がい者（児）を対象とする事業
- ・様式4 府教委作成の教材の活用状況

□公民館及び公民館類似施設主催（委託も含む）の障がい者（児）に関する事業実施状況

- ・様式5 障がい者（児）理解に関する事業（一部実施も含む）
- ・様式6 障がい者（児）と障がいのない人がともに参加した事業（一部実施も含む）
- ・様式7 障がい者（児）を対象とする事業
- ・様式8 府教委作成の教材の活用状況

② 平成27年度中に実施した事業が対象です。

③ 市町村教育委員会（社会教育・青少年教育主管課）がとりまとめのうえ提出してください。

④ 入力した事業の内容等がわかる資料（広報資料、講座での配付資料、事業報告書、事業の様子を撮影した写真等）があれば、逡送で各1部送付してください。

## 3 入力の注意事項

### 調査様式1

教育委員会（図書館を含む）が主催（委託実施も含む）した障がい者（児）への理解促進・啓発を図る事業（一部実施、単発・イベント事業も含む）

① 事業名 当該事業名を入力してください。

② 開催回数 障がい者理解に関する内容を実施した回数を入力してください。

③ 開催日 どれか一つに○印を入力してください。

平日：平日のみの開催の場合

休日：休日のみの開催の場合

両方：平日・休日両方で開催の場合

④ 事業区分 事業の主な目的について、どれか一つに○印を入力してください。

障がい者理解：障がい者理解を図る事業

人権問題：人権問題への理解・啓発を図る事業

ボランティア養成：ボランティアの養成・研修を図る事業

その他：その他の目的を持つ事業

⑤ 対象 事業の対象者について○印を入力してください。（複数回答可）

子ども：子ども（中学生まで）を対象

- 親子：親子を対象                      成人：成人を対象
- ⑥ 事業内容 事業内容を簡潔に入力してください。  
特に企画段階で、当事者の意見をきいている場合はその方法を入力してください。  
内容の一部で障がい者理解を実施している場合は、※印をして入力してください。
- ⑦ 障がい者との交流の有無 事業のなかで障がいのある人と障がいのない人との交流があった場合は○印を入力してください。（講師と参加者との交流、参加者どうしの交流等）
- ⑧ ⑦に○印をした場合は、交流の状況について入力してください。
- ⑨ 講師等 事業の講師の所属・役職・名前等について入力してください。
- ⑩ 主な障がい種別 障がい者理解の対象となった障がい種別全てに○印を入力してください。  
全般…障がい者全般    視…視覚障がい者    聴…聴覚障がい者  
知…知的障がい者    肢…肢体不自由者    精…精神障がい者  
その他…上記に該当しない障がい者
- ⑪ 開催場所 主な開催場所について入力してください
- ⑫ 広報方法 事業の広報手段について、該当する欄すべてに○印を入力してください。その他の場合は、直接入力してください。  
「配慮明記」の欄について、募集案内等に障がい者参加への配慮（「通訳が必要な場合は申し出てください」などの文言）が左記の手段（広報誌、HP、チラシ等）いずれか一つでも明記されていれば○印を入力してください。
- ⑬ 障がい者への配慮 事業実施の際の障がい者（児）への配慮事項について、該当する欄すべてに○印を入力してください。その他の場合は、直接入力してください。
- ⑭ アンケート アンケートを行っている場合は○印を入力してください。

## 調査様式2

教育委員会（図書館・体育館等を含む）が主催（委託実施も含む）した障がい者（児）と障がいのない人がともに参加した事業（一部実施、単発・イベント、スポーツ関係事業も含む。障がいのない人を対象とした事業で障がいのある人が参加した事業などを入力）

- ① 事業名 当該事業名を入力してください。
- ② 開催回数 障がい者と障がいのない人が参加、交流した回数を入力してください。
- ③ 開催日 どれか一つに○印を入力してください。  
平日：平日のみの開催の場合                      休日：休日のみの開催の場合  
両方：平日・休日両方で開催の場合
- ④ 対象 事業の対象者について○印を入力してください。（複数回答可）  
子ども：子ども（中学生まで）を対象  
親子：親子を対象                      成人：成人を対象
- ⑤ 事業内容 事業内容を簡潔に入力してください。  
特に企画段階で、当事者の意見をきいている場合はその方法を入力してください。
- ⑥ 講師等 事業の講師の所属・役職・名前等について入力してください。
- ⑦ 参加者数 事業の参加者数（延べ数）を入力してください。  
参加障がい者の障がい種別・人数：参加した障がい者の障がい種別に人数を入力してください。重複障がい者は、該当する障がい種別ごとに人数を入力してください。  
内障がい児の参加：参加障がい者のうち、障がい児（中学生以下）の障がい種別と参加人数を入力してください。  
※障がい種別の略号については、【調査様式1】⑩を参照してください。
- ⑧ 交流の状況 事業のなかでの交流（講師と参加者との交流、参加者どうしの交流等）の状況について入力してください。
- ⑨ 開催場所 主な開催場所について入力してください。



教材の活用状況【様式1、2、3に入力した事業も再度入力】

(1) について

- ① 活用した教材 次の1～4を入力
  - 1 親学習教材（「親」をまなぶ・「親」をつたえる）
  - 2 動詞からひろがる人権学習
  - 3 人権教育啓発映画（ビデオ）
  
- ② 事業名 当該事業名を入力してください。
- ③ 開催回数 事業の総開催回数を入力してください。
- ④ 開催日 どれか一つに○印を入力してください。  
平日：平日のみの開催の場合                      休日：休日のみの開催の場合  
両方：平日・休日両方で開催の場合
- ⑤ 事業区分 事業の主な目的について、どれか一つに○印を入力してください。  
障がい者理解：障がい者理解を図る事業  
人権問題：人権問題への理解・啓発を図る事業  
ボランティア養成：ボランティアの養成・研修を図る事業  
その他：その他の目的を持つ事業
- ⑥ 対象 事業の対象者について○印を入力してください。（複数回答可）  
子ども：子ども（中学生まで）を対象  
親子：親子を対象                      成人：成人を対象
- ⑦ 事業内容 事業内容を簡潔に入力してください。  
内容の一部で障がい者理解を実施している場合は、※印をして入力してください。
- ⑧ 府教委作成の教材の活用状況 事業の中で活用した①の4つの教材名と活用の状況について入力してください。
- ⑨ 講師等 事業の講師の所属・役職・名前等について入力してください。
- ⑩ 開催場所 主な開催場所について入力してください。

(2) について

(1)の府教委作成の4つの教材について、今後の活用予定を入力してください。決定している項目だけで結構です。

**調査様式5**

公民館等（類似施設を含む）が主催した障がい者（児）への理解促進・啓発を図る事業（一部実施、単発・イベント事業も含む）

- ① 事業名 当該事業名を入力してください。
- ② 開催回数 障がい者理解に関する内容を実施した回数を入力してください。
- ③ 開催日 どれか一つに○印を入力してください。  
平日：平日のみの開催の場合                      休日：休日のみの開催の場合  
両方：平日・休日両方で開催の場合
- ④ 事業区分 事業の主な目的について、どれか一つに○印を入力してください。  
障がい者理解：障がい者理解を図る事業  
人権問題：人権問題への理解・啓発を図る事業  
ボランティア養成：ボランティアの養成・研修を図る事業  
その他：その他の目的を持つ事業
- ⑤ 対象 事業の対象者について○印を入力してください。（複数回答可）  
子ども：子ども（中学生まで）を対象  
親子：親子を対象                      成人：成人を対象





- 1 動詞からひろがる人権学習
- 2 まなび、ふれあい、まちづくりプロジェクト
- 3 人権教育啓発映画（ビデオ）
- 4 親学習教材（「親」をまなぶ・「親」をつたえる）

- ② 事業名 当該事業名を入力してください
- ③ 開催回数 事業の総開催回数を入力してください。
- ④ 開催日 どれか一つに○印を入力してください。  
平日：平日のみの開催の場合                      休日：休日のみの開催の場合  
両方：平日・休日両方で開催の場合
- ⑤ 事業区分 事業の主な目的について、どれか一つに○印を入力してください。  
障がい者理解：障がい者理解を図る事業  
人権問題：人権問題への理解・啓発を図る事業  
ボランティア養成：ボランティアの養成・研修を図る事業  
その他：その他の目的を持つ事業
- ⑥ 対象 事業の対象者について○印を入力してください。（複数回答可）  
子ども：子ども（中学生まで）を対象  
親子：親子を対象                      成人：成人を対象
- ⑦ 事業内容 事業内容を簡潔に入力してください。  
内容の一部で障がい者理解を実施している場合は、※印をして入力してください。
- ⑧ 府教委作成の教材の活用状況 事業の中で活用した①の4つの教材名と活用の状況について入力してください。
- ⑨ 講師等 事業の講師の所属・役職・名前等について入力してください。
- ⑩ 開催場所 主な開催場所について入力してください。

## (2) について

(1) の府教委作成の4つの教材について、今後の活用予定を入力してください。決定している項目だけで結構です。